

## ネウボラロッツ重大事故のお詫び

令和2年12月22日、当法人が運営しております児童発達支援センターネウボラロッツにおきまして、5歳の在園児が給食中に肉団子を喉に詰まらせ、病院に救急搬送され、令和2年12月28日にお亡くなりになられるという事故が発生しました。

何よりも、ご利用者様の安全確保に努めなければならないにもかかわらず、このような重大事故を発生させてしまい、ご両親、ご家族、ご親戚の方々に心より深くお詫び申し上げます。

取り返しのつかないことになり、胸が張り裂ける思いです。

また、ネウボラロッツご利用者様、関係者様、地域の皆様にも多大なるご心配とご迷惑をおかけしていることにつきまして、重ねてお詫び申し上げます。

事故の経緯につきましては、ご遺族の方及びネウボラロッツご利用者様にはお伝えをさせて頂いておりますが、現在のところ岩出署から事故状況を聞かれている段階であり、この場で詳細をお伝えすることが出来ないことをご容赦ください。

今後も引き続き、ご遺族の皆様には誠心誠意対応させていただきますとともに、危機管理の在り方を見直し、安全確保に対する責任を強く自覚し、ご利用者様に安心、信頼して利用していただける施設となるべく再発防止に全力で取り組んで参ります。

当法人では、事故発生時からの緊急対応及び再発防止等の取り組み状況を、今後、適宜開示して参ります。

最後に改めまして、皆様に深くお詫び申し上げます。

特定非営利活動法人 ロツツ  
理事長 木下 陽子